

血液・腫瘍内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 未治療の本態性血小板血症患者における Anagrelide 投与の有効性と安全性に関する多施設後方視的研究

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院 血液腫瘍内科 病院教授 伊藤 量基

《研究の目的》 本研究は、Anagrelide（アグリリン）が ET 治療の第一選択薬として承認されている限られた国において、細胞減少療法ナイーブの ET 患者における Anagrelide（アグリリン）の有効性と安全性を後方視的に検証する。

《研究期間》 研究許可日～2019年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

本態性血小板血症の患者さんで、2014年12月1日～2018年12月31日に Anagrelide（アグリリン）を細胞減少療法の第一選択薬として投与した患者。

●研究に用いる情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）等

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。データは Excel ファイルへパスワードを設定した上でデータ集積施設の担当者へ E-mail にて送付します。

《本研究の資金源・利益相反について》

本研究は、関連企業は有るが、利益相反は無く、研究責任者が所属する診療科の研究資金で実施しています。

また、本研究の研究者は、「学校法人関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従い、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、承認を得ております。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 血液腫瘍内科 病院教授 伊藤 量基

〒573-1191 大阪府枚方市新町 2-3-1 TEL：072-804-0101（内線：2505）